

施策評価シート(令和2年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0402	政策名	参画・協働のまちづくり	施策主管課	地域づくり課	課長名	鈴木 淳子			
政策の目指す姿	お互いを尊重し、持っている特性と能力を活かし合い、まちづくりを行っています									
施策No	01	施策名	市政への参画・協働機会の拡充	関係課名						
施策の目指す姿	市政に関心を持って積極的に関わっています									
現状と課題										
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> まちづくりに関する重要な計画の策定及び変更並びに条例等の制定改廃において、パブリックコメントや意見交換会等を実施し、市政への市民参画を図るとともに、共通の課題解決に向け、市民と市との協働によるまちづくりに取り組んでいます。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市政への参画・協働をさらに進めるため、市民参画の評価と仕組の検証や、市民に向けて参画・協働の考え方の浸透を図る啓発や情報提供を引き続き行っていく必要があります。 										
前年度の評価の振り返り										
前年度評価時の今後の方向性										
<ul style="list-style-type: none"> 市民参画の実施に係る周知において、市広報や市HP・SNSに加え、コミュニティFMや有線放送等活用できる媒体を利用することや市民が参画しやすい市民参画の手法を選定することなどを市民参画・協働推進職員チーム会議の段階で十分に検討し、それぞれの手法における市民の関与・参画を増やすことにより、市民参画の推進を図っていく。 市民と市との協働に対する考え方の浸透を図るため、市HP等による情報発信について充実を図っていく。 										
反映状況										
<ul style="list-style-type: none"> 市民参画の実施予定について広報はなまきや市HP、SNSで周知を図ったが、パブリックコメント3件の実施において、案件によって閲覧数・意見数にはばつきが見られた。市民が参画しやすい市民参画の手法について、市民参画・協働推進職員チーム、市民参画・協働推進委員会での協議を通して効果的な手法を選定し、市政に対する市民の関与・参画の機会を増やすよう今後も取り組む。 市HPにおいて、市政への市民参画と協働のまちづくりについて情報発信を行い浸透を図ったが、市民アンケートでは、市政への意見を述べる機会が確保されていると思う市民の割合が25.9%と目標値の47.0%に達しなかった。一方、市長へのはがき・市長へのメールについては、令和元年度実績を大きく上回った。広報はなまき等他の媒体においてもさらなる情報発信に努めていく。 										
1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組										
<p>(1) 参画・協働機会の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要な計画の策定時等において、パブリックコメントや意見交換会等の適切な方法を用いた市民参画の実施 市広報や市HP等において、市民参画実施予定及び実施結果の周知 花巻市市民参画・協働推進委員会や職員チームによる市民参画の評価と仕組の検証 市民参画・協働推進職員チーム会議における内部評価の実施 花巻市市民参画・協働推進委員会における外部評価の実施 <p>(2) 広聴の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 市政懇談会やまちづくり懇談会、市民との対話等の実施 市政懇談会の開催(新型コロナウイルス感染症拡大により実施できなかった地区については、希望する地区に対して、書面による懇談テーマへの回答を行った。) まちづくり懇談会の開催 ・本庁、各総合支所において市民との対話等の開催 ・要望・陳情の受付・対応 市長へのはがきやメール等の受付 市長へのはがき・手紙、メール等による市への提言等の受付・対応 										
2 成果指標										
成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H29	H30	H31	R02	R03	R04
市政へ意見を述べる機会が確保されていると思う市民の割合	市政への意見を述べる機会や場に対して設定する。	出典：市民アンケート 問「あなたは市民が市政に対し意見を述べる機会が確保されていると思いますか？」(市政懇談会、住民説明会、パブリックコメントの実施など) (1)そう思う (2)どちらかというそう思う (3)そう思わない (4)どちらかというそう思わない (5)わからない のうち(1)及び(2)と答えた市民の割合	%	目標値	40.00	40.50	41.00	47.00	48.00	49.00
				実績値	44.80	45.40	37.60	25.90		
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<p>成果指標「市政へ意見を述べる機会が確保されていると思う市民の割合」・・・【達成度 C】</p> <p>市政へ意見を述べる機会が確保されていると思う市民の割合が25.9%と目標値の47.0%を大きく下回った。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、市政懇談会の開催を中止した地区が27地区中14地区あったこと、市民参画として実施する市が策定する計画の説明会等の開催を取りやめたこと、パブリックコメントについても素案の設置場所である振興センター等の開館時間を制限したことから、閲覧できる時間が少なかったことなど、市政へ意見を述べる機会が少なかった。こうした要因により市政に対する意見を述べる機会が減ったとの認識が広がったと思われる。（一方で、市長へのはがきは令和元年度9件に対し令和2年度53件、市長へのメールは令和元年度20件に対し令和2年度55件と倍増している。）</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<p>(市民参画・協働推進事業) 市民と市との協働に対する考え方の浸透を図るため、情報発信の充実が必要である。</p> <p>(市民参画・協働推進事業) 市民による参画をより推進するため、市民参画の手法の選定について十分に検討する必要がある。</p> <p>(市民参画・協働推進事業) 市民参画の実施にあたり、市民が参画しやすい情報提供のあり方について検討する。</p>
新たに取り組むべき事業はないか
<p>(市民参画・協働推進事業) 市民参画条例の制定に向けた準備を進める。</p>

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・市民参画に対する市民の関心を高めるため、情報発信の充実が必要である。 ・市民による参画をより推進するため、市民参画の手法の選定について十分に検討する必要がある。 ・市民参画の実施にあたり、市民が参画しやすい情報提供のあり方について検討する必要がある。 ・花巻市まちづくり基本条例第12条に規定された市民参画条例について、条例の在り方を検討する等制定に向けた準備を進める必要がある。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・市民参画に対する市民の関心をより高めるため、市HP、広報はなまきに市民による参画・市との協働の考え方や具体的仕組みについての特集記事を掲載するほか、SNS、コミュニティFM、有線放送等を活用し情報提供を行う。 ・市民参画の手法の選定について、市民参画・協働推進職員チームでの検討及び市民参画・協働推進委員会での評価を受け、市民が市政に参画できる適切な手法を選定する。 ・市民参画の実施にあたっては、説明資料を分かりやすく作成する等、より市民が意見を述べやすい情報提供を行う。 ・市民参画条例の在り方について、調査、研究等を進める。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	市民参画・協働推進事業費	地域づくり	一致	間接・補完	C
	市民参画ガイドラインによる市民参画・協働推進委員会及び職員チーム会議の開催 (委員：15人 開催：4回 職員チーム：16人 開催：2回)			B	
011	市民参画・協働推進事業費	地域づくり	一致	直結	C
	市民参画の実施予定及び実施結果を市広報及び市HPで周知 (周知 4回 予定：5件、結果：2件)			A	
012	市民参画・協働推進事業費	地域づくり	一致	直結	C
	協働に対する考え方・認識の共有のため、市民と市との協働指針を市HPで周知 (常時)			A	
013	市民参画・協働推進事業費	地域づくり	一致	直結	C
	広聴事業 市政懇談会、まちづくり懇談会、市長へのはがき・メール、市民との対話などの実施 (市政懇談会13会場323人 意見185件 市長へのはがき53件 メール55件 市民との対話38人 要望陳情249件)			A	